

水が出ない!

1日1人最低**3ℓ**を備蓄しよう。

災害の発生直後は、道路が通行できないこともあり、応急給水活動に時間がかかることも考えられます。災害時に水が出なくなったら？
そんなときのために備えましょう！

企業局の対策

企業局には給水車が4台あります。給水袋は10ℓが約10,000個、5ℓが約10,000個に加え、避難場所に設置する仮設給水タンクなどを備蓄しています。

平成29年台風21号により小松・木戸・和邇・葛川地域で断水し給水活動を実施しました。

また、全国各地で発生した災害時にも企業局の給水車が活躍しています。

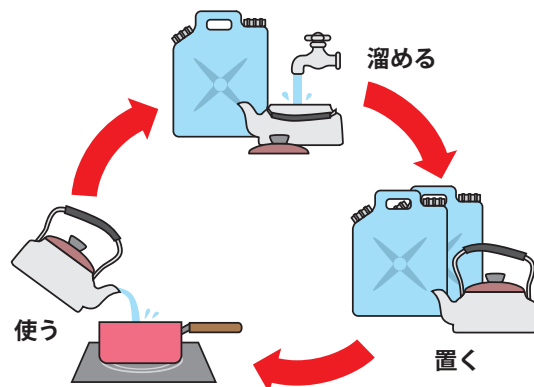


日ごろから水を溜める癖をつけよう!

①やかんやポリタンクなどに溜めた水道水の備蓄は3日に1回取り替えましょう。

溜める(置く)→料理やお茶に使う→溜める(置く)

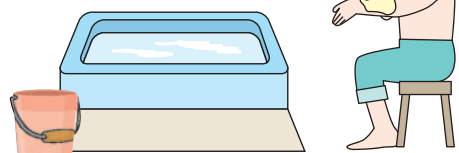
浄水器をとおした水は塩素による殺菌効果がないので毎日取り替えてください。



②飲み水以外で使える水を溜めておく!

お風呂の水はすぐに流さないで!

▶湯船にためた水は次にお風呂に入るときまで置いておきましょう。トイレを流す水や洗濯、身体を拭くときなど飲み水以外に使えます。



※子どもがおぼれる事故を防ぐため、浴室のドアの高い位置に鍵をつけるなど、安全には十分に配慮してください。

災害が起きたときの備えよう!

集中豪雨、地震、台風…自然災害はいつ起こるかわかりません。幸いにも滋賀県内で大規模災害の発生はありませんが、いつ起こるかわからない自然災害は他人事ではありません!

日頃の備え、普段からの**防災意識**が必要です。

災害が起こったとき、あなたならどうしますか?

トイレが使えない!

トイレの水が流れない場合、水道が出ていれば水をかけ、流すことができます。しかし…地震で下水道管が破損していたり、浸水しているときなどはトイレを使うことが出来ません。

非常用(携帯)トイレの備蓄をしておきましょう!

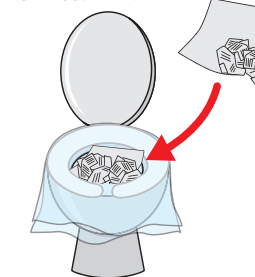
ない場合は、簡易的なトイレを作る方法を知っておくことが大事です。※右図参照

簡易トイレを作ってみよう!

①便座や深いゴミ箱などにゴミ袋を2重にかぶせる。



②新聞紙をまるめて中に敷き詰める。



※使用後は、消臭効果のあるものや、凝固剤を入れてゴミ袋をしぼる

企業局の対策

下水道管の耐震化が完了した避難所に、マンホールトイレ(仮設水洗トイレ)用の下水道管を整備し、その上に80箇所のマンホールトイレを設置することが可能です。今後も災害に備え整備をおこなっていきます。



企業局の防災訓練

企業局では災害が起きた時に迅速にライフラインの復旧ができるよう、定期的に訓練を行っています。

大規模災害時には企業局だけでは人手が足りなくなってしまいます。そんなときのために全国や近隣都市・民間事業者の協力が得られるよう協定を組んでおり、合同訓練も行っています。



防災グッズプレゼント

綿棒、包帯などの救急グッズとライター、マスクなどの防災グッズのセット。P.7のクイズの答えを応募すると防災グッズが当たります!

★応募に関する詳しいことはP.7をご覧ください。



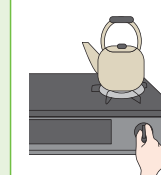
ガスが使えない!

ガスメーターには震度5以上の地震を感知すると自動的にガスを止める機能がついています。

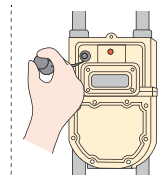
ガス管の破損などの被害がなければ、右の図のとおり操作すると簡単に復旧ができます。

もしガスが使えなくなった場合のためにもご家庭に一台カセットコンロを置いておくと安心です。

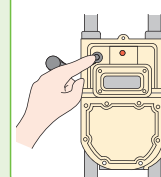
ガスメーターの復帰操作方法



①すべてのガス機器の器具栓を閉めるか、運転スイッチを切ってください。



②マイコンメーターの復帰ボタンのキャップをはずしてください。



③復帰ボタンを奥までしっかり押し、すぐ指を離してください。



④約3分待ってください。赤ランプの点滅が消えたら元通りガスが使えます。

企業局の対策

大津市では、お客様に安心して都市ガスを使用していただけるよう市内98%のガス管は耐震管と呼ばれる地震に強いものを使用しており、残りの2%のガス管についても耐震管への取替えを進めているところです。また、万が一ガスが止まってしまった場合に備えて、避難所への貸し出し用カセットコンロ約1,500個、カセット用ボンベ約4,200本を備蓄しています。